

概 説

第一 土 地

位 置 本縣ハ畿内ノ東南部ニ位シ大和全國十郡一市ヲ管轄ス東ハ三重縣ニ境シ西ハ大阪府ニ隣リ南ハ和歌山縣ニ境シ北ハ京都府ニ接ス東經百三十五度三十三分ヨリ起リ百三十六度十二分ニ至リ北緯三十三度五十二分ヨリ三十四度四十七分ニ至ル。

地 勢 南北ニ長ク東西ニ狭ク山岳四面ヲ圍繞シテ北方纔ニ開遁ス東ハ三國山、高見山、大臺ヶ原山、備後山等ノ群峰ヲ隔テ伊賀伊勢紀伊ニ境シ南ハ峻嶺相重リテ紀伊ノ諸嶺嶽ト交叉シ西ハ金剛、葛城、信貴、生駒ノ連山起伏シテ河内ノ國界ヲ畫ス。

山嶽及河川 山嶽ノ大ナルモノハ七面山、佛經岳、彌山、釋迦ケ岳、大臺ヶ原山、國見岳等ニシテ何レモ南方ニ巍峨屹立ス、河川ハ飛鳥、富雄、龍田、葛城其他數多ノ小川合流シテ大和川トナリ西流シテ河内、和泉ノ國ヲ經テ海ニ入ル、宇陀川ハ宇陀郡ニ發シ伊賀國ヲ經テ名張川トナリ再び遙ニ北部ヲ匯リテ山城國ニ赴ク、吉野川ハ源ヲ大臺ヶ原山ニ發シ中央ヲ貫流シテ紀ノ川トナリ海ニ至ル又十津川、北山川ハ俱ニ吉野郡ノ山間ニ發シ紀伊國ヲ過ギテ南海ニ注グ、河流概ネ急端ニシテ吉野川ヲ除ク外舟楫ノ利ヲ欠キ時ニ汎濫ノ憂アリト雖モ吉野川、十津川、北山川ハ何レモ流筏ノ便アリテ木材輸出上利便少カラス。

面 積 本縣ハ東西十六里十二町、南北二十六里一町、面積二百四十一方里餘ニ亘リ畿内五國中最大ナルモノナリトス而シ其九割二分二厘ハ民有有租地一分六厘ハ免租地及年期地ニシテ爾餘ノ六分二厘ハ官有地ナリトス更ニ之ヲ郡市別ニ觀察スルトキハ郡ノ最大ナルモノハ吉野郡ニシテ其ノ面積實ニ本縣ノ六割二厘強(百四十五方里六六)ヲ占メ宇陀、山邊、生駒、添上、磯城等ノ各郡順次之ニ亞キ奈良市ノ一方里九分四厘ヲ最小トス。

地 質 本縣ノ地質ハ錯雜混入スレドモ之ヲ分類スレハ南半ハ大部分古生層ニシテ中生層ハ其南端ノ一部ヲ占メ北半ハ火成岩ヨリ成ル、地質ニハ花崗岩、安山岩アリ水成岩層中ニハ片麻岩第三紀、第四紀層アレドモ第四紀層ハ概予農耕地トナリ森林地ハ片麻岩層ノ地多ク之ニ亞イデハ第三紀層ナリトス其ノ他ノ地層ハ是等ノ間に介在シテ小面積ノ地ヲ占ムルノミ

民業及物產 民業ハ農業ヲ主トシ山地ニ在ルモノハ林業ヲ兼す又市街地ニ在ルモノハ專ラ商工業ニ從事シ養蠶、製茶ヲ業トスルモノモ尠カラズ物產ノ主ナルモノハ米、綿絲、紡績綿織物、賣藥、酒、用材(以上產出價額五百萬圓以上)蠶絲頻、麥(同參百萬圓以上)等ニシテ其ノ生產總額實ニ壹億壹千六百八拾參萬貳千貳百參拾八圓(一人當百九十四圓)ナリトス今之ヲ前年ニ對比ス

ルニ總額ニ於テ貳百貳拾五萬八千八百拾六圓、一人當ニ於テ參圓ヲ增加セリ是レ主トシテ物價ノ昇騰ニ依ル結果ニシテ其他著名ナルモノハ凍豆腐、筆、墨、麵類、漆器、香魚、金魚等ナリ

第二 戸 口

人 口 大正十一年末ニ於ケル現住人口ハ男三十萬二千六十六、女二十九萬八千百四十六總計六十萬二百十二人ニシテ之ヲ同年末本籍人口ニ比スレバ七萬二千六百四十一人少シ之レ近時人口ノ都會ニ集注スルモノ多キヲ加ヘタル爲ニシテ就中大阪、京都、東京、兵庫、三重等ノ各地へ移住スルモノ最モ多シ今現住人口ヲ全面積二百四十一方里八四ニ割リ當ツルトキハ平均一方里二千四百八十二人ニシテ更ニ之ヲ郡市別ニ掲載スレバ次ノ如シ

添 上	3,714	生 駒	5,950	山 邊	3,196
磯 城	7,484	宇 陀	1,594	高 市	8,197
北 葛 城	10,807	南 葛 城	7,841	宇 智	4,487
吉 野	743	奈 良	21,799		

本表ニ依リテ之ヲ見ルニ平均一方里ノ人口トシテ最密ナルハ奈良市ノ二萬一千七百九十九人ニシテ北葛城、高市、南葛城、磯城、生駒、宇智、添上、山邊ノ各郡順次之ニ亞キ最疎ナルハ吉野ノ七百四十三人、宇陀ノ一千五百九十四人ナリトス之ヲ要スルニ本縣ニ於ケル人口ノ分布ハ西北部ノ平坦ニ於テ稠密ニシテ東南部殊ニ南方山間ニ進ムニ從ヒ漸次稀薄トナルモノトス蓋シ本縣ハ奈良市ノ如キ市街地ヲ除クノ外ハ農耕業ヲ以テ生業トスルモノ多キガ故ニ吉野、宇陀ノ如キ山地ヨリモ比較的耕作ニ利便ナル北葛城、高市、磯城ノ諸郡ニ集合スルモノナルベシ

戶 數 大正十一年末現在戸數ハ十萬七千五百六十五ニシテ一戸ノ平均人口ハ五人五分八厘ニシテ全國ノ五人ニ比較スレハ稍々多シ今之ヲ前年末ニ比較スレハ百三十五戸ヲ減ジ又五年前（大正六年末）ニ比較スレバ一千八百八十七戸ノ増加ナリトス、數年前ニ比シ比較的多數ノ増加ヲ示セルハ主トシテ綿密ナル調査ヲ行ヒタル爲ニシテ何等特殊ノ事由アルヲ認メズ

著名ノ都邑 本縣ニ於ケル市街地トシテ最モ著名ナルハ奈良市（縣廳所在地）ニシテ人烟稠密縣下第一ノ都會タリ、奈良ハ本邦最古ノ帝都トシテ又有名ナル奈良公園、春日山ノ所在地トシテ夙ニ人口ニ膾炙シ土地又閑雅ニシテ名所舊蹟ニ富ミ殊ニ京阪ノ中樞ニ當レルヲ以テ益々隆盛ヲ見ルニ至レリ其ノ他千戸以上ノ都邑ハ十七アリテ郡山、高田、下市、丹波市、五條、大淀、川上ノ各地順次之ニ亞ギ何レモ千五百戸以上ナリトス

第三 教 育

學齡兒童 大正十一年度ニ於ケル學齡兒童ノ總數ハ男五萬九千六十六人、女五萬六千五百五十人

計十一萬五千六百十六人ニシテ内就學ノ始期ニ達シタル者男五萬一千五百七十九人、女四萬九千二百九十八人、計十萬八百六十九人未タ就學ノ始期ニ達セザル者男七千四百八十七人、女七千二百六十人、計一萬四千七百四十七人ニシテ之ヲ前年度ニ比較スルニ就學ノ始期ニ達シタルモノニ於テ九百三十九人全達セザル者ニ於テ二百十四人計一千百五十三人ノ減少ヲ來セリ、最近五ヶ年間ノ學齡兒童數ヲ累記スレハ次ノ如シ

	既ニ就學ノ始期ニ達シタルモノ	未タ就學ノ始期ニ達セザルモノ	計
大正七年度	94,229	14,856	109,095
大正八年度	98,905	14,844	113,749
大正九年度	100,102	14,550	114,652
大正十年度	101,808	14,961	116,769
大正十一年度	100,869	14,747	115,616

學齡兒童中尋常小學校ヲ修ムルモノト其ノ業ヲ卒ヘタルモノト計記スレハ十萬四百四十九人ナリ不就學兒童ノ總數ハ四百十人ニシテ内就學猶豫二百六十四人就學免除百五十六人ナリ既ニ就學ノ始期ニ達シタル學齡兒童百人中就學歩合ハ九九、五九ニシテ前年度ヨリ〇、〇六ノ減少ヲ來セリ

小學校 大正十一年度末ニ於ケル市町村立小學校總數ハ三百五十四校ニシテ尋常小學校百七十三校尋常高等小學校百六十九校高等小學校十二校ニシテ之ヲ前年度ト比較スルニ總數ニ於テハ三校ヲ減ジ其内譯ニ於テハ尋常小學校六校高等小學校一校孰レモ減ジ尋常高等小學校四校增加セリ最近五ヶ年間ニ於ケル小學校數ヲ表示スレハ次ノ如シ

	尋常小學校	尋常高等小學校	高等小學校	計
大正七年度	202	147	14	363
大正八年度	197	155	14	360
大正九年度	183	162	14	359
大正十年度	179	165	13	357
大正十一年度	173	169	12	354

小學校ノ學級數ハ尋常科一千六百七十二高等科二百九十五尋常科高等科ヲ併セ編成セルモノ十二補習科十七合計一千九百七十九ヲ算シ前年度ニ比シ五十一學級ヲ增加セリ

補習科ヲ設クルモノ尋常小學科高等小學科ヲ通シテ十六校ニシテ前年度ニ比シ九校ヲ減ジタリ高等小學科ノ補習科ニ在リテハ概ね女兒ノ爲ニ裁縫ヲ教授スルヲ以テ主タル目的トシ尋常小學科ニ至リテハ概ね尋常小學校ノ教科ヲ補習セシメンガ爲ニ設クルモノナリ

小學校教員ノ總數ハ二千二百十四人ニシテ其資格別人員ヲ掲記スレハ次ノ如シ

	男	女	計
小学校本科正教員	1,023	379	1,402
尋常小学校本科正教員	226	72	298
小学校専科正教員	11	72	83
准教員	57	7	64
代用教員	189	178	367
計	1,506	708	2,214

幼稚園 ハ町村立ニ係ルモノ五私立ニ係ルモノニアリテ幼兒六百十九人ヲ保育セリ、保姆及兒園ニ關スル最近五ヶ年比較ヲ舉クレハ次ノ如シ

	園數	保 姆	助 手	幼 兒			保育満期幼兒數		
				男	女	計	男	女	計
大正七年度	6	9	6	250	250	500	168	453	326
大正八年度	6	10	—	248	263	511	168	189	357
大正九年度	6	9	6	273	274	547	183	168	351
大正十年度	6	9	6	277	292	569	218	225	442
大正十一年度	7	12	4	337	282	619	240	226	466

盲哑學校 本縣ニ於ケル盲哑教育ニ關スル施設ハ大正九年度ニ殆メテ私立奈良盲哑學校ヲ設置セラレ訓盲部ノミヲ收容セリ大正十一年度ニ於ケル生徒ハ普通科男五人女三人技藝科男五人ナリ

師範學校 ハ二校生徒數ハ男子ノ豫備科三十六名本科二百九十名女百九十八名ニシテ本年度卒業生ハ本科男八十三名女七十七名ニシテ前年度ニ比シ男女ヲ合シテ二十九名ヲ増加セリ

教員ノ有資格者三十二名無資格者二名ナリ、付屬小學校訓導ハ男二十名女三名ナリ、就學兒童ハ兩校ヲ合シテ尋常科男三百五十二人女三百六十一人高等科男三十六人女六十六人合計八百五八人ヲ收容セリ

高等普通教育 ニ在リテハ縣立中學校三、私立中學校二、縣立高等女學校一、同町立ニ係ルモノ一同郡立ニ係ルモノ三校アリ

教員ノ總數ハ二百二十七名中學校ノ生徒總數二千六百一人本年度卒業者三百五十三人高等女學校ノ生徒總數二千二百五十八人本年度卒業者四百三十九人ナリ

實業教育 ニ在リテハ縣立工業學校一、同吉野工業學校一、同農林學校一、同商業學校一、郡立學校ニ屬スル添上農學校一、計五校アリ乙種程度ニ屬スルモノニハ郡立農業學校二、職業學校ハ町村立四アリ教員數ハ九十五人アリ生徒總數ハ男一千四百四十七人女六百三十四人ニシテ本年度卒業者ハ男二百四十五人女一百四十五人ナリ

實業補習學校ハ市立一、町村立二百五十五校計二百五十六校ニシテ生徒數ハ男一萬二千三百三十六人女二千六百十九人計一萬四千九百五十五人ニシテ前年度ニ比シ三百三十一人ヲ増加セリ

本年度ノ卒業者ハ男三千三百三十人女五百七十四人ナリ

實業補習學校教員養成所 ハ一、縣立農林學校 = 併設セリ本年度在學生徒十九名教員ハ凡テ農林學校教員中ヨリ兼務セリ

各種學校 小學校ニ類スル各種學校ハ公私立計二十二校アリテ前年度ニ比シ六校ヲ減ズ生徒數ハ

男子十三名女子九百四十四名ヲ算ス

其他ノ各種學校ハ十一校アリテ前年度ヨリ一校ヲ増加セリ何レモ私立ニ係リ學科程度區々ニシテ一定セズ生徒數ハ男一千九百三十八名女二千九名計三千九百四十七名ニシテ前年度ニ比シ一千五百五十七名ヲ増加セリ

公 學 費 本年度ニ於ケル公學費ヲ通算スルニ總額參百七拾七萬五千百拾六圓ニシテ前年度ニ比シ參拾參萬參千貳百零圓ヲ増加セリ、之ヲ區別スレバ縣公學費八拾參萬九千六百六拾壹圓、郡公學費參拾九萬貳千四百五拾壹圓、市公學費拾八萬八千百拾九圓、町村公學費貳百參拾五萬四千貳百八拾五圓ナリトス右本年度ニ於ケル縣郡市町村公學費ノ地方費ニ對スル割合ヲ見ルニ縣公學費ハ縣費總額ノ二割四分餘、郡公學費ハ郡費總額ノ四割一分餘、市公學費ハ市費總額ノ四割八分餘、町村公學費ハ町村費總額ノ三割五分餘ニシテ如何ニ教育ノ普及ニ多大ノ力ヲ致セル

カヲ知ルベシ

第 四 神 社 寺

神 社 本縣ニ於ケル神社ハ總數一千五百六十二ニシテ官幣社十、縣社十、鄉社三十五、村社一千百三、無格社四百三、招魂社一ニシテ內神饌幣帛料供進指定神社ハ總數三百八十三ナリトス

寺 院 ノ總數ハ一千六百九十七ヶ寺アリテ天臺宗外十二ヶ宗ニ分カレ内最モ多數ヲ占ムルハ真宗ノ六百三十一ヶ寺ニシテ淨土ノ三百四十四、真言三百二十一ヶ寺之ニ亞ク又一宗ノ本山タル大寺院ハ華嚴ノ東大寺、法相ノ法隆寺、興福寺、藥師寺、律宗ノ唐招提寺、真言律宗ノ西大寺、新義真言宗豊山派ノ長谷寺アリ、中宮寺、圓照寺、法華寺ハ門跡寺院トシテ著名ナルモノナリ、本縣ニハ社寺ノ建造物及寶物ニシテ古社寺保存法ニ依リ特別保護建造物及國寶ニ指定セラレタルモノ他府縣ニ比シ多數ヲ占メ殊ニ當代美術ノ代表的作物モ亦尠カラズ何レモ年々國庫ノ補助ヲ受ケ修理セラレツ、アリ

第 五 慈 惠 及 優 賞

濟貧恤窮 人員ハ百六十七人ニシテ前年ヨリ百三十一人ヲ減ジタリ其ノ内廢疾五十九、老衰四十九、疾病二十六、幼弱三十一、棄兒二人ニシテ國費ノ救助金總額ハ參千四百四拾貳圓ナリトス

慈善團體 ハ總數五ニシテ内感化事業ニ屬スルモノ一、免囚保護事業ニ屬スルモノ一、育兒事業

ヲ目的トスルモノニ、養老及育兒事業ヲ目的トスルモノ一ナリ何レモ當時者ノ熱心ニ因リ經營ノ歩ヲ進メツ、アルモ未タ其ノ成績トシテ特記スペキモノナシ

日本赤十字社及愛國婦人會 ノ事業ハ本縣支部ニ依リテ經營セラル共ニ支部ハ奈良市登大路町ニ在リテ縣下十郡一市ヲ管轄ス大正十一年末ニ於ケル赤十字社員總數二萬三千四百七十二人ニシテ前年ニ比シ五百五十二人ヲ增加シタリ、又愛國婦人會員ハ一萬一千五百三十二人ニシテ前年ニ比スレバ百十八人ヲ增加セリ

慈惠救濟資金 本縣ニ於ケル慈惠救濟資金ハ大正十一年度ニ於テハ拾貳萬參千參百四拾壹圓ニシテ之ニ對スル歲入ハ拾壹萬八百貳拾八圓、歲出ハ九萬八千七拾五圓ナリトス而シテ之レガ經費ハ主トシテ部落改善費、代用感化院費、育兒院及養老院費補助ニ充當セルモノナリ

褒 賞 本年ニ於ケル褒賞人員ハ總數百五十人ニシテ悉ク金穀財產等ヲ寄付セシモノニシテ褒狀ヲ賜ヒシモノナリ

第六 警 察

警察官署 本年末ニ於ケル警察官署ハ警察部ヲ除クノ外警察署十一、警察分署七、警察官派出所二十、巡查駐在所百九十六ナリトス

警察職員 ハ警視二人、警部二十六人、警部補二十人、巡查四百五十三人合計五百一人ニシテ前年度ニ比スレバ二十二人ヲ增加シタリ、外勤巡查一人ニ對スル人口ノ割合ハ二千三十九人ニシテ之ヲ本分署別ニ見ルトド津川ハ一千七百七十五人、二千人以内・郡山、生駒ニシテ二千人以上二千五百人迄ノ處多ク奈良ハ二千九百五十五人ナリ

檢舉犯罪人 本年中ニ於ケル檢舉犯罪人ハ總數一萬二百九十九人ニシテ前年ニ比シ一千四百二十人ヲ增加シタリ、内刑法犯ハ四割二分七厘、縣令違犯三割四分一厘、警察犯處罰令一割二分六厘諸條令諸規則違犯一割六厘ニ該當ス

盜 難 本年中ニ於ケル強盜ハ十一件、竊盜ハ一千五十八件ニシテ前年ニ比シ前者ハ八件ヲ増シ後者ハ七件ヲ減セリ、拘捕ニ遭ヒシ人ハ一人、詐欺及恐喝ニ遭ヒシ人ハ七百四十五人ニシテ前年ト比較スルニ前者ハ同ジク後者ハ百五十八人ヲ增加セリ

第七 裁 判 及 登 記

民事裁判 大正十一年ニ於ケル各區裁判所終局民事件數ハ六千百三十九件ニシテ前年ニ比シ三百五十三件ヲ增加シタリ、終局ノ内譯ハ和解事件九、督促事件一千八百五十六、第一審訴訟事件一千六百二十五、抗告件數十一、強制執行百六十五、非訟事件二千四百四十七、控訴件數二十六ナリトス

登 記 大正十一年ニ於ケル登記ハ四萬七千七百十二件、登錄稅ハ五拾萬六千五拾圓ニシテ前

年ニ比シ登記ハ一千六百五十四件ヲ増加シ登録税ハ貳萬六千九百八拾貳圓ヲ減少セリ登記ノ内譯ハ不動産四萬六千四百五十件、營利ヲ目的トセザル法人十三件、商業未成年者妻法定代理人及支配人六十四件、商事會社七百二十七件、產業組合四百十六件、住宅組合三件、工場財團九件、立木二十五件、耕地整理五件ナリトス

第 八 衛 生

醫師藥劑師及產婆 大正十一年末ニ於ケル醫師ハ三百三十三人、齒科醫ハ七十人、藥劑師ハ四十一人、產婆ハ三百九十八人ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ醫師八人ヲ減シ齒科醫ハ十五人、藥劑師四人、產婆四人ヲ増加セリ、人口ニ對スル比例ハ一萬人ニ付醫師ハ五・五五、齒科醫一・一七、產婆ハ六・六三ニ當レリ、醫師ノ人口比例ヲ郡市別ニ見レバ奈良ノ一〇・八八最モ多ク宇智ノ七・五四、山邊ノ六・〇七之ニ亞ギ其他ハ六人以下ニシテ最モ少キハ添上ノ三・二二ナリトス

種 痘 大正十一年ニ於ケル第一期種痘即チ出生ヨリ六ヶ月迄ニ行ヒタル公種痘ハ一萬七千三十四人ニシテ前年ニ比シ一千百五十三人ヲ減シタリ其ノ善感割合ハ九割三分餘ニシテ殘餘ノ六分餘ハ不善感及檢診未了ナリ、同年ニ於ケル第一期私種痘ハ八十三人ニシテ前年ニ比シ二十一人ヲ増加セリ、其善感割合ハ九割八分餘、不善感ハ一分餘ナリ

第二期種痘即チ數へ年十歲迄ニ行ヒタル公種痘ハ一萬六千四人ニシテ前年ニ比シ一千三百七八人ヲ減シタリ、其ノ善感割合ハ七割三分餘ナリ、同年ニ於ケル第二期私種痘ハ十一人ニシテ前年ニ比シ十四人ヲ減ジタリ其ノ善感割合ハ七割二分餘、不善感ハ二割七分餘ナリ

法定傳染病 大正十一年度ニ於ケル法定十種傳染病患者ハ四百二十五人ニシテ中腸瘻扶斯二百六十人、パラチブス九十一人、實布蛭利亞五十二人、赤痢四人、流行性腦脊髓膜炎八人、痘瘻五人、猩紅熱五人ナリトス、各症死亡率ハ患者百ニ付赤痢七五・〇〇、實布蛭利亞五三・八五、流行性腦脊髓膜炎三七・五〇、腸瘻扶斯二八・八五、痘瘻及猩紅熱ノ二〇・〇〇、パラチブスノ一六・四八順次之ニ亞グ

第 九 交 通

道 路 國道十五號線ハ奈良ニ起リ北方山城ノ國ニ通ズ延長一里二町九間、縣道ハ百二十七路線延長二百九十九里餘アリテ其中著名ナルモノ三線アリ、奈良大阪線、奈良津線、奈良和歌山線トス、何レモ奈良ヨリ起リ西、東、南方ニ至ル其他著大ノ道路上市松坂線、榛原久居線、奈良月瀬線、上市木本線、笠置榛原線、天川下市線、丹波市上野線、高見名張線、五條本宮線ノ九線アリテ之ニ加フルニ市町村道路ハ延長一千六百二十八里餘ニ達ス

鐵 道 ハ大阪ヲ起點トシ王寺奈良ヲ經テ名古屋ニ通ズル關西本線アリ又王寺ヨリ分岐シ高田五條ヲ經テ和歌山ニ通ズルモノ、奈良ヨリ櫻井ヲ經テ高田ニ通ズルモノ及ビ奈良ヨリ京都ニ通

ズル官設鐵道ノ外吉野、初瀬、大和、天理ノ私設輕便鐵道アリ吉野輕便鐵道ハ南葛城郡ノ吉野口ニ起リ吉野郡大淀町大字北六田ニ至リ、初瀬輕便鐵道ハ櫻井ヨリ起リ初瀬ニ通ジ大和鐵道ハ王寺ヨリ櫻井ニ至リ天理輕便鐵道ハ法隆寺ヨリ丹波市町ニ通ズ又大阪電氣軌道ハ大阪上本町ヲ起點トシ生駒山ヲ貫通シテ奈良市ニ通ジ更ニ西大寺ヨリ分岐シ郡山、田原本ヲ經テ畠傍御陵、橿原神宮ニ達スルモノアリ其ノ總延長百六十哩餘ニシテ貨物ノ運輸交通ノ便備ハレリ

索 道 本年ニ於ケル索道數ハ十二、其ノ總延長八十三哩餘ニシテ山間部ニ於ケル物貨運搬ノ重要機關ナリトス

通信機關 ハ明治四年末開始以來漸次完備シ現在ニ於テハ郵便局百、電話取扱局七十三ヲ算スルニ至レリ

第一〇 災 害

暴風雨被害 大正十一年ニ於ケル暴風雨被害損失見積價額ハ六萬三百圓餘ニシテ前年ニ比スレバ貳百八拾七萬貳千圓餘ヲ減ジタリ、被害ノ甚シカリシハ大和川及吉野川流域等ニ於ケル道路ノ被害ニシテ毀損箇所二百十四損失價額四萬九千圓餘ニ達ス

火 災 本年中ニ於ケル火災ノ度數ハ百六十七ノ多キニ達シ前年ニ比スレバ三十七ヲ増加セリ
中失火ハ百六十三ニシテ九十七%六ヲ占ム罹災家屋ハ住家及非住家ヲ併セ二百十二棟ヲ算シ損害見積金額拾萬五千圓餘ニ達ス

第一一 財 政

國 費 大正十一年度ニ於ケル國庫支出ノ本縣經費總數ハ五拾八萬七百六拾圓ニシテ内經常費四拾七萬八千參拾六圓、臨時費拾萬貳千七百貳拾四圓ナリトス之ヲ前年度ト比較スルニ經常費ニ於テ拾壹萬六千參百四拾五圓ヲ増シ臨時費ニ於テ拾五萬參千百四拾壹圓ヲ減ジ總額ニ於テ參萬六千七百九拾六圓減ジタリ最近五ヶ年間ニ於ケル累年比較ヲ表示スレバ次ノ如シ

	經 常 部	臨 時 部	計	指 數
大 正 七 年 度	188,546	162,469	351,015	100
大 正 八 年 度	320,805	130,871	451,676	100
大 正 九 年 度	324,747	270,657	595,404	170
大 正 十 年 度	361,691	255,865	617,556	176
大 正 十 一 年 度	478,036	102,724	580,760	165

縣 費 大正十一年度ニ於ケル本縣決算總額ハ歲入經常部貳百九拾參萬百四拾四圓、臨時部百貳拾六萬四千五百貳拾貳圓、總計四百拾九萬四千六百六拾六圓ニシテ前年度ニ比スレバ經常費ニ於テ八萬八千六百七拾貳圓、臨時費ニ於テ六拾六萬六千貳百參拾貳圓、總額ニ於テ七拾五萬四千九百四圓ヲ增加シタリ、歲出ハ經常部貳百拾九萬貳千五百八拾四圓、臨時部百貳拾九萬參

千六百六拾五圓、總計參百四拾八萬六千貳百四拾九圓ニシテ前年ニ比スレバ經常部ニ於テ貳拾五萬壹千八百七拾九圓、臨時費ニ於テ四拾貳萬五千百拾七圓、總額ニ於テ六拾七萬六千九百九拾六圓ヲ增加シタリ、最近五ヶ年間ニ於ケル歲入歲出額ヲ表示スレバ次ノ如シ

	歲 入				歲 出			
	經 常	臨 時	計	指 數	經 常	臨 時	計	指 數
大正七年度	1,410,803	606,367	2,017,170	100	1,099,673	675,967	1,775,640	100
大正八年度	1,703,715	505,984	2,209,699	110	1,252,044	575,156	1,827,200	103
大正九年度	2,282,052	628,501	2,910,553	144	1,857,168	751,756	2,608,924	147
大正十年度	2,841,472	598,290	3,439,762	171	1,940,705	868,548	2,809,253	158
大正十一年度	2,930,144	1,264,522	4,194,666	208	2,192,684	1,293,665	3,486,249	196

大正十一年度歲入經常部ノ內容ハ縣稅八十七・八五%、雜收入七・九六%、國庫下渡金三・七四%、財產收入〇・四五%ナリ、縣稅中地租割、總額ノ三十六・三四%ヲ占メ之ニ亞グハ戸數割ノ二十五・一五%等其ノ主タルモノトス

歲出經常部ノ中警察費ハ二十四・三四%、教育費ハ二十四・二三%、土木費ハ二〇・九四%ヲ占メ居レリ

郡 費 大正十一年度郡歲入決算總額ハ百壹萬九千六百貳圓ニシテ前年度ニ比シ貳拾四萬八千六百六拾壹圓ヲ增加シタリ、同年歲出決算總額ハ九拾五萬六百七拾參圓ニシテ前年度ニ比シ貳拾八萬五千五百九拾四圓ヲ增加シタリ、歲出ヲ地方別ニ見レバ吉野郡ハ總額ノ二割二分八厘餘南葛城郡ハ二割餘、北葛城郡一割六分八厘餘ニシテ最少ハ山邊郡ノ一分餘ナリ

市町村費 大正十一年度決算ニ依ル市町村歲入總額ハ七百八拾七萬七千參百拾八圓ニシテ前年ニ比シ百參拾八萬參百七拾六圓ヲ增加シタリ、市歲入額ハ四拾參萬貳千八拾四圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレバ壹萬八千七百貳拾圓ヲ減ジタリ、市收入ノ主タルモノハ戸數割付加稅ニシテ全收入ノ二割六分餘ヲ占メ之ニ亞グハ雜種稅付加稅綠越金、國稅營業稅付加稅等ナリ、町村歲入總額ハ七百四拾四萬五千百參拾四圓ニシテ之ヲ前年度ニ比スレバ百參拾九萬九千九拾六圓ヲ增加シタリ、收入中租稅ハ五割六分ヲ占メ其中戸數割付加稅三割五分、地租付加稅七分餘、雜種稅付加稅五分、木材輸出稅四分等ナリ、又稅外收入ノ主タルモノハ綠越金、財產收入、綠入金、寄付金等ナリ

市町村歲出總額ハ七百萬參千七百五拾九圓ニシテ前年度ニ比シ百參拾五萬七千四百七圓增加シタリ、市ノ支出額ハ參拾八萬七千貳百五拾五圓ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ四千四拾九圓ヲ減ジタリ、支出ノ主タルモノハ教育費ノ二割五分首位ヲ占メ小學校營繕費ノ二割三分、役所費ノ一割六分餘ナリ、町村歲出額ハ六百六拾壹萬六千五百四圓ニシテ平均一町村四萬貳千九百六拾四圓ニ當ル、之ヲ前年ニ比スレバ總額ニ於テ百參拾六萬壹千四百五拾六圓、平均ニ於テ八千八百

四拾圓ヲ増加シタリ、支出ノ主タルモノハ教育費ニシテ三割九分ヲ占メ役場費ノ一割五分八厘諸稅負擔ノ一割六厘之ニ亞ギ尙著明ナルハ基本財產造成費、土木費等ナリ

諸稅負擔 大正十一年度國稅總額ハ五百四拾萬九千六百四拾圓ニシテ前年度ニ比シ九拾四萬九百六拾四圓ヲ増加シタリ、直接國稅ハ貳百參拾七萬六百參拾七圓ニシテ前年ニ比スレバ貳拾參萬貳千九拾壹圓ヲ増加セリ

地租 大正十一年末ニ於ケル地租納稅人員ハ十二萬七十六人ニシテ前年ニ比シ六千四百九十一人ヲ増加シタリ、人口百ニ付納稅者ノ割合ハ二〇・〇一ニシテ前年ニ比シ一・〇一ヲ増加シタリ、地租納稅額ハ九拾參萬四千九百圓、内田租七拾貳萬貳千七百圓、宅地租拾萬參千圓、畠租八萬七千參百圓、雜地租貳萬壹千六百圓ナリ

地租納稅額ヲ郡市別ニ見レバ磯城郡ノ拾六萬圓最モ多ク生駒ノ拾五萬圓、北葛城ノ拾貳萬圓、添上ノ九萬圓之ニ亞ギ八萬圓臺ノ地方ハ山邊、高市、五萬圓臺宇陀ナリトス

所得稅 大正十一年ニ於ケル所得稅納稅人員ハ第一種百三十四人、第三種一萬六千百七十八人ニシテ前年ニ比シ前者ハ十五人、後者ハ二千百四十五人ヲ増加シタリ、人口百ニ對スル第三種所得稅納稅人員ハ二・七〇人ニ當リ前年ニ比シ〇・三五ヲ増加シタリ、所得稅納稅額ハ合計百拾壹萬六千九百拾四圓ニシテ前年ニ比シ貳拾壹萬四千九百參拾壹圓ヲ増加シタリ、郡市別ニ見ルニ吉野郡ノ貳拾九萬圓最モ多ク奈良市ノ拾六萬圓、生駒郡ノ拾參萬圓、高市ノ拾壹萬圓之ニ亞ギ拾萬圓以下ニ在リテ北葛城、磯城、宇陀等多キ地方ニ屬セリ

營業稅 大正十二年度ニ於ケル營業稅納稅人員ハ六千九百五十二人ニシテ大部分物品販賣業ヲ營ムモノナリ、營業稅納稅額ハ貳拾八萬貳千參拾九圓ニシテ前年度ニ比スレバ貳萬五千九百九拾七圓ヲ増加シタリ、納稅額最多ナルハ奈良市ノ七萬圓ニシテ生駒及吉野ノ五萬圓相亞ギ多キ地方ニ屬ス

縣稅 大正十一年度縣稅總額ハ貳百五拾七萬四千貳百七拾四圓ニシテ前年度ニ比シ參萬壹千八百八拾圓ヲ減ジタリ、縣稅總額中地租割ハ三割六分、戶數割ハ二割五分ヲ占ム現住一戸ニ對スル戸數割ハ六圓貳錢ニシテ前年ニ比シ五拾四錢ヲ減ジタリ

地方債 大正十一年度末ニ於ケル地方債ノ總額ハ貳百貳拾四萬六千六百五拾圓ニシテ前年ニ比シ參拾八萬貳千五百七拾六圓ヲ増加シタリ、地方債ハ市債ノ百參拾萬圓最モ多ク縣債ハ參拾六萬圓、町村債ハ四拾五萬圓郡債ハ拾壹萬圓ナリ